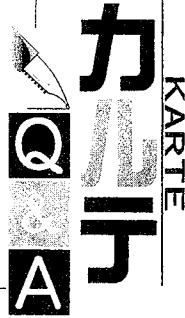


かすみ目、疲れ目、ドライアイ。私たちの生活は、いつも目のトラブルと隣り合わせです。見えにくくなっても、年齢を理由にやり過ごしてはいませんか。もしかすると、その症状は目の病気なのかもしれません。「加齢黄斑変性」について専門医に聞きました。



加齢黄斑変性

網膜中央に障害、注射や薬が効果

年齢を重ねると目の見え方に変化を感じる方が多くいます。中でも「視界の中心がゆがむ」「真ん中が暗く見える」「視力が下がった気がする」などの症状が現れた時は「加齢黄斑変性」という病気が関係しているかもしれません。これは、目の奥にある網膜の

見えたり、視力が低下したりし、やがて視界の中心が全く見えなくなつて、日常生活に支障を来します。

直接注射することで、異常な血管の増殖を抑えて視力の低下を防ぎ、ゆがみなどの症状を改善することが期待できます。最近ではより効果が高い薬も開発され、注射の間隔を空けることができるようになっています。通院の負担も軽減されてきました。

質を高める秘訣です。気になる症状があれば放置せず、早めに眼科で相談することをお勧めします。

(兵庫県眼科医会、松原令二 神戸市東灘区、松原眼科クリニック)

◇第1、3、4日曜に掲載します。

中央部分「黄斑」に障害を来す病気です。

黄斑は視界で言うと、中央に相当する部分で、小さい文字を読んだり、人の顔を見分けたりする日常生活でよく使われる重要な場所です。黄斑に異常が起きると視界の中心がぼやけたり、線が曲がって

れや出血を引き起こし、視力が低下します。中には進行が速い場合もあり、早期の発見が重要です。

発症のリスクには加齢のほか、喫煙、高脂血症、紫外線、遺伝的な体質が関係しています。特に喫煙は大きなリスク要因で、禁煙は加齢黄斑変性の予防の第一歩です。普段からの健康管理と定期的な目の検査を習慣にしましょう。目の健康を守ることは、人生の

治療には点眼薬や内服薬を使う場合がありますが、特に効果が高いとされるのが「抗血管内皮増殖因子薬(抗VEGF薬)」の注射です。目に

直接注射することで、異常な血管の増殖を抑えて視力の低下を防ぎ、ゆがみなどの症状を改善することが期待できます。最近ではより効果が高い薬も開発され、注射の間隔を空けることができるようになっています。通院の負担も軽減されてきました。

質を高める秘訣です。気になる症状があれば放置せず、早めに眼科で相談することをお勧めします。

(兵庫県眼科医会、松原令二 神戸市東灘区、松原眼科クリニック)

◇第1、3、4日曜に掲載します。